

|             |                                                                                                                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学 校 教 育 目 標 | 認め合い 学び合い 高め合う 心豊かな児童の育成（「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子の育成）                                                                                                                          |
| 目 指 す 学 校 像 | ○学び合い、高め合う、活力ある学校 ○規則と秩序があり笑顔あふれる学校 ○美しく整えられ安全で潤いのある学校                                                                                                                               |
| 重 点 目 標     | 1 情報端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実<br>2 児童や保護者に寄り添った教育相談体制の構築と安心・安全な学校づくり<br>3 コミュニティ・スクールとして地域・保護者との連携・協働の推進<br>4 美しく安心・安全で落ち着きある教育環境の整備<br>5 教職員一人ひとりが力を発揮できる環境づくりとワンチームで対応できる組織力の構築 |

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

|   |   |             |
|---|---|-------------|
| 達 | A | ほぼ達成（8割以上）  |
| 成 | B | 概ね達成（6割以上）  |
| 度 | C | 変化の兆し（4割以上） |
|   | D | 不十分（4割未満）   |

学びの質の向上に  
関する取組

心の子  
のサポ  
ートに  
関する  
取組

学校  
づくりに  
関する  
取組

教育  
環境の  
整備に  
関する  
取組

教職  
員のキ  
ャリア  
形成に  
関する  
取組

| 学 校 自 己 評 価 |                                                                                                                                                                                                                                |                            |                                                                                                       |                                                                                                |           |     |             | 学校運営協議会による評価        |  |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----|-------------|---------------------|--|
| 年 度 目 標     |                                                                                                                                                                                                                                |                            |                                                                                                       | 年 度 評 価                                                                                        |           |     |             | 実施日令和 年 月 日         |  |
| 番号          | 現状と課題                                                                                                                                                                                                                          | 評価項目                       | 具体的方策                                                                                                 | 方策の評価指標                                                                                        | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 | 学校運営協議会からの意見・要望・評価等 |  |
| 1           | ○学校評価「授業がよくわかる」の肯定的評価が児童・保護者ともに向上した。<br>○R7全国学力・学習状況調査や市学習状況調査では平均を下回っている学年が見られる。<br>○学習意欲・学力ともに個人差がみられる。<br>・効果的にタブレットを活用し思考力・判断力・表現力を向上させ、基礎・基本を定着させる。<br>・体験活動を取り入れ、学習意欲を高める授業を工夫し展開する。<br>・家庭学習の取組を改善し定着させる。               | 学びの自律化・探究化に向けた授業改善         | ①学校課題研究の研修計画にしたがって全教員が授業実践を行い、指導力を高め学びの質を向上させる。<br>②市学習状況調査等の結果を踏まえ、TT など指導体制を改善・工夫して、個別最適な指導を行う。     | ①学校評価「授業がよくわかる」の児童A評価が昨年度以上になったか。<br>②学びの指標の調査結果が昨年度より向上したか。                                   |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                | 学びの質の向上に向けたカリキュラムマネジメントの推進 | ①児童の主体性を高める体験活動を取り入れた学習活動を実施する。<br>②読解力や思考力、表現力の基礎となる読書活動の取組を改善する。<br>③家庭学習の手引きを作成し取り組む。              | ①児童の主体性を育む体験活動を新たに実施したか。<br>②学校評価「読書」の児童A評価が昨年度以上になったか。<br>③学校評価「家庭学習」のA評価が保護者38%以上になったか。      |           |     |             |                     |  |
| 2           | ○教職員と保護者、SC・SSWが連携を図りながら、児童に寄り添った対応を誠実にやっている。<br>○児童間トラブルなど生徒指導案件については報告・連絡・相談・見守りを欠かさず、組織的に迅速に対応している。<br>・Sola ルームの活用状況をふまえ、校内の指導体制を改善する。<br>・個に応じた指導・支援を共有し対応する組織体制をより強化する。<br>・安全意識を向上させ、安全な登下校やけがのない行動につながる実践力を児童に身につけさせる。 | 安全・安心な校内指導体制の推進            | ①交通安全に関わる児童への安全指導を徹底・強化する。<br>②児童の危機意識や対応力を高めるため、より実践的な訓練を実施する。<br>③定期的にアンケートを活用した面談を行い、相談体制を確立する。    | ①学校評価「交通安全」のA評価が保護者63%以上になったか。<br>②児童の実践力を高める訓練を実施できたか。<br>③学校評価「相談しやすい」の児童A評価が昨年度以上になったか。     |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                | 児童に寄り添った支援体制の充実            | ①スクールダッシュボード等を活用し、不登校やいじめ、問題行動等の早期発見と早期対応を迅速に行う。<br>②生徒指導委員会や教育相談・特別支援教育委員会、臨時ケース会議など情報共有を徹底し迅速に対応する。 | ①学校評価「いじめ防止」のA評価が保護者60%以上になったか。<br>②臨時ケース会議を開催し、情報共有を図りながら迅速に対応ができたか。<br>③Sola ルームの指導体制が整備されたか |           |     |             |                     |  |
| 3           | ○創立45周年記念行事をPTAと協力して行うことができた。<br>○保護者の学校理解を高めるため、全学期に授業参観を実施することができた。いじめ撲滅の取組として全学級で道徳の授業を公開した。<br>○保護者や地域に教育活動を周知するため、城南小ブログで発信、アクセス数が増えている。<br>・地域の教育資源や人材を積極的に授業等に活かし、学校と地域の連携を深める。<br>・SSNにおける地域・関係機関等との連携を強化する。           | コミュニティースクールを核とした児童の健全育成    | ①教職員や児童が参加するなど、学校運営協議会を活性化させる。<br>②SSN等の関係機関と連携を図る取組を実施する。<br>③地域行事を発信し参加児童を増やす。                      | ①学校運営協議会についての情報をHPで発信、保護者や地域に周知したか。<br>②SSN等の関係機関と連携を図る取組を行ったか。<br>③児童が学校運営協議会に2回以上参加したか。      |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                | 教育活動への保護者・地域の参画            | ①給食試食会等、教育活動への関心・理解を高める行事等取組を行う。<br>②授業参観等、保護者の参加率を高める取組を行う。                                          | ①保護者や地域に教育活動を積極的に公開したか。<br>②学習活動を学校ブログで発信したか。                                                  |           |     |             |                     |  |
| 4           | ○児童によるクリーン活動を1回実施した。<br>○教具など不要な物を整理し、児童が落ち着いて過ごすことができる教育環境づくりを行った。<br>○児童会の活動紹介など校内掲示板の活用・改善を行った。<br>○購入計画もとに計画的に予算を執行している。<br>・中央階段や廊下等に埃やごみが多く、児童の清掃活動の改善を行う。<br>・教室棟の床や外窓の汚れが目立ち、計画的な清掃作業が必要である。                           | 美しく整備された教育環境による教育活動の推進     | ①教具の修理や補充を行い、教育活動で活用できるようにする。<br>②清掃の仕方について改善を図る。<br>③ユニバーサルデザインの視点で学習等に活きる掲示環境を整備する。                 | ①児童の清掃活動が徹底されているか。<br>②掲示物の活用について改善を行うことができたか。                                                 |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                | 安心・安全な教育環境の整備              | ①施設設備等の日常・定期・臨時点検を行い、危険箇所には迅速に対応する。<br>②見通しをもった修繕・購入計画にもとづき、執行状況を確認しながら、確実な予算執行を行う。                   | ①児童のけがの件数を昨年度より減少させたか。<br>②進捗状況を確認しながら、確実に予算執行を行えたか。                                           |           |     |             |                     |  |
| 5           | ○困難な業務において教職員同士のサポート意識が高く、常に連携し迅速に対応した。<br>○ベテラン・中堅教員が経験を伝承しながら、若手教員を育成している。<br>・小規模校のため一人当たりの担当業務が多く、校務分掌によっては業務量の偏りがみられた。<br>・ICTの活用により効率的に業務を行う。<br>・組織的に働き方改革を検討し、計画的な業務改善を行う。                                             | 教職員の指導力の向上                 | ①研修主任を中心に学校課題研究を研修計画にしたがって行う。<br>②キャリア段階に応じた研修の受講奨励を行う。特にOJTを進めながら若手教員を育成する。                          | ①学校課題研修を活かし、全教員が授業改善に取り組むことができたか。<br>②教職員による学校評価「学校課題研修」の評価平均を前年度以上にする。                        |           |     |             |                     |  |
|             |                                                                                                                                                                                                                                | 組織的な働き方改革の推進               | ①集金方法を改善し業務を削減する。<br>②働き方改革委員会で業務内容や改善方法を検討する。<br>③メンタルヘルス等働き方改革に関する研修を実施する。                          | ①2つ以上業務改善を行うことができたか。<br>②働き方改革に関わる研修を実施することができたか。<br>③時間外在校時間の削減が図られたか。                        |           |     |             |                     |  |

